「共催のタウンMで

ダウ
「都」
官房
当室
学技
P）へ
京大
頼。
は教授
―
は多く
が行わ
用段階
中村
た大学
及する
獣でき
てくれ

を選び、質疑の冒頭では想定問答どおり「ベンチャー企業の創出と育成は、日本経済の活性化にとって必要だと思うが、政府としてどのような取り組みを行なっているのか」という質問が教授によってなされた。

京大によると、あらかじめ提示された三種類の質問から一つを選んだという。さらに、同担当室から「参加状況が芳しくない」として約九十人の参加者を新たに募るよう要請され、京大は二十五人のリストを提出した。リストは生協の非常勤職員のものだったという。

ディスカッションなどが催された。

タウンミーティングに関しては、国による事前の質問依頼や参加者の動員要請が各地で明らかになり、「市民の声を行政に反映する」という趣旨が骨抜きにされている実態が問題となっている。京大は「当時の担当者がいないので記録でしか分からない」（広報センター）としている。

切断された指の神経を連結する人工神経
（手術において、患者の了解を得て撮影）

第1回「高木レクチャー」開催

新たな数学の創造めざす

日本数学会

十一月二十五・二十六日、京都大学数理解析研究所で第一回「高木レクチャー」が行われ、全国から約一四〇名の聴講者が訪れた。

「高木レクチャー」は、「日本現代数学の父」と呼ばれる高木貞治（ていじ、一八七五―一九六〇）の名にちなみ、日本数学会が今年三月に設置した。数学者の名前を冠した招待講演会は、日本初の試みであり、新たな数学の創造に寄与することを目的に、今後年二回、春と秋に行われる。開催地は基本的に、東京大学（春）と京都大学（秋）になる見通しだ。

第一回となる今回は、フィールズ賞受賞者であるスメイル・シカゴ大教授（力学系）とリオンス・コレージュ・ド・フランス教授（応用数学）の両名のほか、ブロック・シカゴ大教授（整数論）、ヴォワザン・フランス国立科学研究センター教授（代数幾何学）という四名の研究者を招待した。

高木貞治は、旧制第三高等学校（後の京大教養部）から東京帝国大学理科大学（現在の東大理学部）に進学。同大学を卒業後、三年間ドイツに留学し、代数的整数論などで知られるヒルベルトに師事した。帰国後は、東大の助教授、教授として代数的整数論の研究で、「類体論」を確立し、『高木類体論』（一九二〇）で、ヒルベルトの「類体」の概念を一般化。「数学のノーベル賞」とされるフィールズ賞の創設（一九三八年）にあたり、第一回選考委員として世界の五人の中の一人に選ばれるなど世界的な数学者として活躍した。

招待講演会としては第二次世界大戦期に創設され、『数学原論』の執筆などで知られるフランスの数学者集団の通称「ニコラ・ブルバキ」を冠したブルバキセミナーや、ハーバード大学が主催するCurrent Developments in Mathematicsなどが有名だが、今回世界的にも著名な高木の名を冠して、それらに匹敵する権威ある講演会を日本にも作ろうとする意図がある。

小林俊行・日本数学会理事（京大数理解析研究所教授）は「内容は非常に高度だが、研究者にとって新たなひらめきにつながる機会を提供したい」と話している。

information

【催し】

■カトリック河原町教会 クリスマスチャリティーコンサート
日時…12月18日（月）開場18:30 開演19:00
会場…カトリック河原町教会聖堂
入場料…500円
問い合わせ…TEL：075-231-4785（教会事務所）
URL：http://www.ryuumu.co.jp/~fee117/church/

■劇団ケッペキ 12月公演「フユヒコ」
日時…12月23日（土）～24日（日）
開場 13:30 開演 14:00
開場 18:30 開演 19:00
会場…京都大学西部講堂
入場料…前売り500円／当日700円
問い合わせ…TEL：080-5052-6590（制作）
E-mail：g_keppeki@hotmail.com
URL：http://keppeki.lar.jp/（携帯対応）

■アイセック京都大学委員会 東アジアセミナー「歴史問題をどう考えるか」
日時…2007年1月14日（日）14:00～19:00
内容…蘭信三・京都大学国際交流センター教授による講義など
会場…京都大学文学部新館
（参加者には詳細を追って連絡）
問い合わせ・参加申し込み
…E-mail：ea_seminar@yahoo.co.jp（中西）

■京都大学交響楽団 第180回定期演奏会・創立90周年記念特別公演 京都公演
日時…2007年1月17日（水）
開場 18:00 開演 19:00
会場…京都コンサートホール大ホール
入場料…S席1500円／A席1000円
問い合わせ…TEL：075-751-9412
URL：http://www.geocities.jp/kyodaioke/

■井戸端サイエンス工房 第4回サイエンスカフェ「影とかたちの神隠し」
日時…2007年1月27日（土）14:00～15:30
会場…カフェ進々堂（京都大学北門前）
参加費…700円（お飲み物、お菓子代＋経費）
問い合わせ・参加申し込み
…E-mail：isl@kyoto.vis.ne.jp
URL：http://kyoto.vis.ne.jp/isl/

「information」では、展示・催しなどの情報を募集しています。郵送・ファックス・電子メールのいずれかの方法にて、以下の宛先まで情報をお寄せ下さい。
〒606-8317 京都市左京区吉田京大構内
FAX：075-761-6095
E-mail：kup@ops.dti.ne.jp
京都大学新聞社編集部「information」係

る学生センターには午前七時半ごろ京都府警から連絡があり、職員が寮に向かったが、連絡からわずか一・

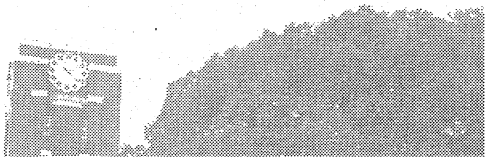
学生が逮捕された事件に関連し、事件について活発に抗議活動をしてきた団体のボックス（熊野寮地下）か

巨、今年度でも三度目と異常な事態であり、大学自治のあり方に波紋を呼びそうだ。

の活動を物理法則に縛り込むことは出来ないと思うのだ。今こうして自分がパソコンに向かっているのも、大昔の原子の配置や状態によって初めから決まっていたと言えるだろうか。自分はピタゴラスイッチの玉転がし装置の一部に過ぎないのだろうか。答えはノーである。いや、ノーであると信じたい。そしてこの答えが自分を生物学へと突き動かしているように思う。とは言え、やっぱり理屈抜きで生物が好きというのがまずある。「好きに理由なんてない」と言ったのは、冬ソナに出演していたヨン様だっただろうか▼大学へ来て早八ヶ月。まるで全力で駆け抜けてきたような気分だ。充実しているようでうれしい反面、時間が矢の様に過ぎ去っていくのは悲しくもある。この八ヶ月の間に興味の範囲も広がった。新しい友達もできた。アルバイトも始めた。そして後期、京大新聞社に入り、今回初の記事を書かせてもらっている。これからも、時間はあっという間に過ぎて行くだろう。そんな中、京大新聞という場において自分の生きた証を残していけるということは、とても幸せで光栄なことだなと感じている。（侍）

2006.12.16
京都大学新聞

京都大学新聞　定期購読募集



京大新聞